

授業計画						
回	日付	ユニット	行動目標 (SBOs)	学習方略 (LS)	授業担当者	コアカリ/国試出題基準
1	9/3	臨床薬理学総論	臨床薬理学とはいかなる学問かを説明できる。	A P1~3 及び A4版配布資料とコンピュータを使用したアニメーションにより、重要なポイントを解説する。	李 昌一	D-5-1) 必15-Z-a~h 総 (X)-9-A~S
2	9/10		実際の臨床薬物の動態における薬物の吸収、分布、代謝、排泄を説明できる。	A P8~13 及び A4版配布資料とコンピュータを使用したアニメーションにより、重要なポイントを解説する。	李 昌一	D-5-3) 総 (X)-9-C
3	9/17		治療的薬物モニタリング (TDM) を説明できる。	A P37 及び A4版配布資料とコンピュータを使用したアニメーションにより、重要なポイントを解説する。	李 昌一	D-5-3) 総 (X)-9-J
4	9/24		臨床で頻用される薬物の相互作用を説明できる。	A P20~24 及び A4版配布資料とコンピュータを使用したアニメーションにより、重要なポイントを解説する。	李 昌一	D-5-2) 必4-E 必15-Z-g 総 (X)-9-E
5	10/1		実際の臨床試験を含む薬物開発の現状を説明できる。	A 25~26 及び A4版配布資料とコンピュータを使用したアニメーションにより、重要なポイントを解説する。	李 昌一	D-5-1) 総 (X)-9-S
6	10/8		高齢者・妊婦・小児の薬物治療の留意点を説明できる。	A P17,18, P43 及び A4版配布資料とコンピュータを使用したアニメーションにより、重要なポイントを解説する。	高橋俊介	F-4-2), 3) 必15-Z-i 総 (X)-9-G
7	10/15	試験評価	1回から6回までのユニットの行動目標を説明できる。	中間試験を実施する。	薬理学分野 教室員全員	
8	10/29	臨床薬理学各論	歯科臨床で頻用される抗菌薬による副作用、相互作用を説明できる。	A P215~235 及び A4版配布資料とコンピュータを使用したアニメーションにより、重要なポイントを解説する。	高橋俊介	D-5-1), 2), 4) 必15-Z-g,h,i 総 (X)-9-E,F,I,M 各IV-(IV)-2-I,J
9	11/5		歯科臨床で頻用される鎮痛消炎薬を説明できる。	A P189~194 及び A4版配布資料とコンピュータを使用したアニメーションにより、重要なポイントを解説する。	吉野文彦	D-5-1), 2), 4) 必15-Z-g,h,i 総 (X)-9-E,F,I,K,L 各IV-(IV)-2-I,J
10	11/12		中枢神経疾患患者における歯科薬物療法を説明できる。	A P111~129 及び A4版配布資料とコンピュータを使用したアニメーションにより、重要なポイントを解説する。	李 昌一	D-5-1), 2), 4) 必15-Z-g,h,i 総 (X)-9-D,I,J 各IV-(IV)-2-I,J
11	11/19		循環器系疾患患者における歯科薬物療法を説明できる。	A P131~142 及び A4版配布資料とコンピュータを使用したアニメーションにより、重要なポイントを解説する。	高橋聡子	D-5-1), 2), 4) 必15-Z-g,h,i 総 (X)-9-D,I,J 各IV-(IV)-2-I,J
12	11/26		代謝性疾患患者における歯科薬物療法を説明できる。	A P171 及び A4版配布資料とコンピュータを使用したアニメーションにより、重要なポイントを解説する。	高橋聡子	D-5-1), 2), 4) 必15-Z-g,h,i 総 (X)-9-D,I,J 各IV-(IV)-2-I,J
13	12/3		抗加齢 (アンチエイジング) 歯科医学の基礎である酸化ストレスを説明できる。	A4版配布資料とコンピュータを使用したアニメーションにより、重要なポイントを解説する。	李 昌一	D-5-1), 2), 4) 必15-9-Z-c 総 (X)-D
14	12/10	特別講義	抗加齢 (アンチエイジング) 歯科医学の実際とサプリメントの処方説明できる。	外部講師により薬を取り巻く様々なトピックを解説する。	李 昌一 斉藤一郎	D-5-2) 必15-9-Z-a~i 各IV-(IV)-2-I,J
15	12/17	合学習 ふり返り総	1回から14回までの総復習		李 昌一	